

『おいしい！広島』PR 支援業務公募型プロポーザル選定委員会議事録（議事要旨）

項 目	内 容
1	日 時 令和6年7月17日（水）13時15分から16時10分まで
2	場 所 広島県庁本館4階広島県海区漁業調整委員会室
3	出席委員 <ul style="list-style-type: none"> <li>・農林水産局農林水産ブランド戦略担当部長</li> <li>・農林水産局販売・連携推進課長</li> <li>・総務局広報課長</li> <li>・総務局施策形成支援チーム担当課長</li> <li>・商工労働局観光魅力創造担当監</li> <li>・農林水産局畜産課長</li> <li>・農林水産局水産課長</li> <li>・東京事務所次長</li> </ul>
4	議 題 企画提案内容の審査及び最優秀提案者の決定について
5	担当部署 農林水産局 販売・連携推進課
6	開催方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 参集</li> <li>2 持ち回り</li> </ul>
7	<p>提案された企画提案を基にプレゼンテーションを行い、選定委員会において審査の上、最も高い得点の提案者を最優秀提案者として選定した。</p> <p>1 提案者（最優秀提案者：◎）</p> <p>A社：株式会社中国新聞アド</p> <p>B社：株式会社電通西日本広島支社</p> <p>C社：広島メディアコンソーシアム（◎）</p> <p style="padding-left: 20px;">代表企業 広島テレビ放送株式会社</p> <p style="padding-left: 20px;">構成企業 株式会社中国新聞社</p> <p style="padding-left: 40px;">株式会社アドプレックス</p> <p>D社：ひろぎんエリアデザイン・MHDF・wolfram 共同チーム</p> <p style="padding-left: 20px;">代表企業 ひろぎんエリアデザイン株式会社</p> <p style="padding-left: 20px;">構成企業 合同会社MHDF</p> <p style="padding-left: 40px;">株式会社 wolfram</p> <p>2 各委員の主な評価・選定理由</p> <p>【A社】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PRスタッフ数が豊富で、地元の広告代理店と全国規模の大手PR会社との協力体制は安定感が期待できる。</li> <li>・首都圏と県内それぞれにチームを編成しており評価できる。</li> <li>・メディアへ提案する広島の食文化や食資産について具体的な提案をしていただきたかった。</li> </ul>

- ・少し各企画の繋がりが分かりづらく、散発的な印象がある。

**【B社】**

- ・価値発信の方法について、県民の誇りにつながるストーリーが感じられた。
- ・業務の趣旨を十分に理解しつつ、提案内容にも一貫性があり、自社の強みを活かしたものになっている。
- ・全国的にも視聴率や注目度の高いメディアが抽出されているが、発信媒体に少し偏りがある印象を受けた。
- ・SNSの活用など、幅広い媒体を通じた情報発信の方法について、より具体的な提案があるとよかった。

**【C社】**

- ・おいしい広島プロジェクトの戦略に沿って、県民へ伝えたい内容が設計されている。
- ・複数のメディアでコンソーシアムが構成されており、露出の頻度や媒体の多様性という点で優れている。
- ・県内の食の魅力についての理解が高く、情報価値を磨き上げ、実際に発信するための体制が整っている。
- ・実現可能性は高いと思うが、県民に深く刺さるための演出については、工夫の余地があると感じた。

**【D社】**

- ・伝えようと考えている本質的なところは魅力的である。
- ・本業務の趣旨に沿った提案であり、評価できる。
- ・提案内容についてチャレンジ要素が多く、効果的なものとなるか疑問を感じた。
- ・企画の方向性は面白いと感じたが、どのような内容をどういったメディアで発信していくのかといった具体性に欠けていた。